

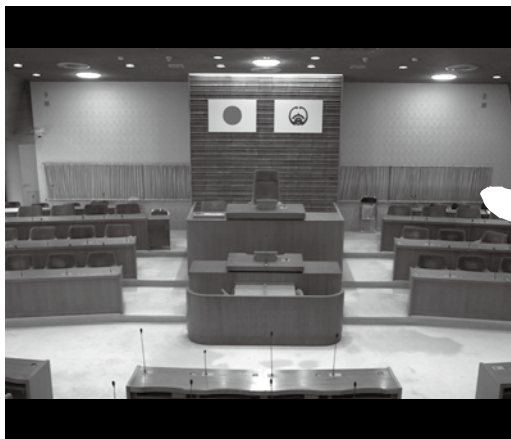
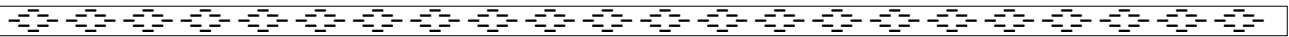
答 連帯保証人はついていましたが、この事件では、連帯保証人が届出なしの引っ越しで追跡が困難なことから、訴外となりました。

問 日本全国に公民館と公立病院は何件ありますか、との質問がありました。

答 平成25年度調査によると、全国で条例に基づき公民館を設置している市町村は、全体

の88%でした。なお、平成20年度の調査では91.4%なので、近年減少傾向です。

2014年度の総務省の資料では、全国の病院数は8,540で、公立病院は881です。公立病院の再編が進むなか、統廃合や、民間に譲渡されるケースも少なくありません。



市政の ここが聞きたい!

一般
質問

一般質問は定例会で議員が議案に関係なく、市政全般について市の方針をたずめるものです。なお、掲載文は質問議員本人作成の原稿です。



杉浦康憲 議員

教育行政について

問 不登校の状況と、それに対する取り組みについて。

答 大きく2つのことに取り組んでいる。1つ目は「新たな不登校児童・生徒を出さないこと」

で、質の高い授業づくり、安心できる居場所づくり、子どもと教師、子どもと子どもが共感し合える人間関係づくりなど、児童・生徒自身が毎日の授業や学校生活を充実していると実感できる学校づくりに、力を注いでいる。同時に家庭訪問や保護者相談など、早期段階の対応で状況をしっかり把握し、適切な対策をとり、長期化を未然に防いでいる。

2つ目は「学校復帰に向けた支援対策の整備」で、市内の全ての小中学校児童・生徒が利用できるよう、「ほっとスペース」という名称の「適応指導教室」を、いきいき広場内に設置している。普通教室に入ることによる不安を感じたり、引きこもりや昼夜逆転の生活で無気力になった

りする児童・生徒のために、個に応じたきめ細やかな対応ができるようにしている。また、翼小学校と両中学校に「生徒指導加配教員」を、高浜中学校には「主幹教諭」を配置し、課題解決の中心者となって職務に当たり、適切かつ迅速に対応できるようにしている。さらに、スクールカウンセラーやこころの相談員を配置し、不登校児童・生徒が抱えるさまざまな問題に対し、精神的な面から心の支援を行っています。

問 ケータイやスマホの利用状況と、それに対する取り組みについて。

答 平成27年度中に、市内小中学校から報告された携帯電話やスマホに関する問題行動の報告件数は4件でした。トラブルを把握した場合の対応ですが、かかわった児童・生徒の全てから聞き取りを行い、内容を細かく確認したうえで、児童・生徒はもとより保護者を交えた指導を行い、家庭における今後の指導依頼をしている。また、日頃の授業でも情報モラル教育を行っている。個人情報やSNSの正しい利用法、ネット上でのいじめや、顔の見えない相手との関わりから起きる危険性まで、幅広く教えている。